

**[重症気管支喘息]の[治療]のため受診中あるいは受診経験のある  
患者さんまたはご家族の方へ**

**臨床研究に対するご協力をお願い**

愛媛県立中央病院では、上記の病気で受診された方の検体や診療情報(カルテ情報)を使用して臨床研究を実施いたしております。本研究に該当する可能性のある方のご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。

本研究への協力を望まれない場合、研究についての詳しい情報を希望される場合などは、その旨、以下の「問い合わせ先」までご連絡をお願いします。本研究への協力を望まれない旨のご連絡を頂いた場合は研究対象からは除外させて頂きますので、検体や診療情報は利用されず、また他の研究機関への提供も行いません。

**【研究課題名】** 重症喘息患者のデュプリマブとベンラリズマブ投与の肺機能の改善の比較

**【研究の目的】**

重症の喘息患者さんでデュピクセントやファセンラが効果の高い薬剤であることはわかっていますが、どちらの薬がより効果が高いのか不明であるため患者さんの肺機能のデータをもとに決めようと思います。

**【対象となる方】**

重症の気管支喘息の患者さんで、2018年4月1日から2021年9月31日の間にデュピクセント、ファセンラの治療を受けた方

**【使用する検体・診療情報】**

カルテ情報：肺機能検査のデータ ACT スコアー 性別、年齢、基礎疾患の有無、IgE、好酸球、好塩基球

**【研究期間】** 臨床研究審査委員会承認日から2023年3月31日

※委員会承認後、開始日を記載してください。

**【個人情報の取扱い】**

使用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを特定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は公表いたしません。

**【研究責任者】**

愛媛県立中央病院

呼吸器内科 部長 勝田知也

**【問い合わせ先】**

松山市春日町 83 番地

愛媛県立中央病院

呼吸器内科 部長 勝田知也

電話 089-947-1111 FAX 089-943-4136